

野の花館だより

2010/冬号 / No.58

今年もあと一ヶ月、早いものです。このような活動をしているお仲間では最年長の部類に入り、いろんな場所で懐かしい方々に会えたり、訃報を聞いたり、心がざわめくときでもあります。

“今年度で任期満了となります。遠くて一度も参加することができませんでしたがいよいよお仕事が続けられますようお祈りいたします。”との有りがたいおことば・・・昨年も長い間（私達が高鍋におやこ劇場を造ったころ-1980年-から参加し、）会費や寄付金で支えて頂いた方が高齢のため、退会のご挨拶に見え、恐縮しました。このお便りがせめてその方々へのお慰めになれば...と思ったりしています。12月はミールのクリスマスコンサート、あけて、1月15日には、地元宮崎の演者“二人の会”による小さい人たちへの舞台“お話とパントマイム”の公演です。お楽しみに...

花豆の財政活動も取り組みます。よろしくお祈りいたします。

野の花館ミニコンサート（第24回） “クリスマスコンサート”

12月23日(天皇誕生日) 13:30開場 14:00開演



(ミール)ヴァイオリン&ピアノ・デュオ

ヴァイオリン(稲田竜斗) ピアノ(稲田由香里)

参加費 大人1,000円 子どもは無料

子どものための舞台公演 2010

2011年1月15日(土) 10時開場 10時半開演

演劇企画「二人の会」公演 お話とパントマイム

お話:濱崎けい子 パントマイム:後藤慶子

大きなカブ、北風と太陽、マイム体験コーナー他...

参加費 ひとり券 700円

ふたり券 1300円

いろいろフォーラム・フォークコンサート開催 10月24日

例年のように神事によるいろいろ開きを行い、高千穂土呂久の佐藤慎市さんによる火起こしでいろいろの火が入った後、いろいろフォーラム・フォークコンサートが行われた。

綾町から参加した、野の花館理事の伊藤さんに感想をお願いした。同日の感想一片も・・・

・・・私は自分が困っていたとしても近所の人に声をかけてちょっとお願いするなんてできない。親も遠くにいて頼ることは出来ない。ぎりぎりまで自分で何とかがんばってどうしてもだめだとなったら公共の相談窓口へ電話するというのが私のやり方だ。でも私の母は違う。子供はみんな遠くにいるし、近くに親せきもいない。結構不便な所に住んでいるけど車も乗らない。けれどもなんとかやっている。どうしているかと言えば遠くに行く時は近所の若い奥さんに頼んで、車に乗せてもらいちょっとしたお礼をしているそう。晩御飯のおかずなんかもご近所であげたりもらったり。畑で採れた野菜もしたり。又、友達が病院に行くのを付き合ってあげたりもしているらしい。私はこんな母の人との付き合い方っていいなあと少しうらやましく思っていた。いろいろフォーラムでの話を聴いているとこうした母のやっているようなご近所どおしの助け合いが今からの社会の支えになっていくことが分かった。

人と人がつながろうとするにはまず勇気が必要だ。私にもその勇気がほしいと思った。私だけでなく、本当はもっとたくさんの方がそう思っているのではないだろうか。高鍋の方々は素晴らしいところに住んでいると思う。これからも野の花館でのいろいろフォーラムに気軽に参加することができ前向きで未来のことをきちんと考える方々と楽しく会話することができるからだ。いろいろフォーラムが多くの人を巻き込んでずっと続いて行きますように。 M・I 38歳

野の花館での沢山の催し物の中で、私にとっては初めて高鍋の町のことを語る人達を見ました。「野の花館はこの先どうなるのか」と、外から何もしないで見ているだけの私はようやく、やっと？野の花館は町のものになりそうな気配を感じています。

今日はハレの日になりました。あったかい「アコースティックス」のうたごえも晴れの心持ちにさせてくれました。

峰 瑞枝



いろいろ福会 in 高鍋が開いた「いろいろフォーラム・フォークコンサート」

地域の課題を語り合い、つなぐフォーラム・フォークコンサート。なごりを築こうと「いろいろフォーラム」は高鍋町の「野の花館」

孤立しない社会を

民生委員ら意見交換

高鍋フォーラム

で24日あった。ボランティアなどさまざまな立場から報告し合い、他人と交流する場を持つことによる孤立させない社会づくりを呼び掛けた。町内の人が集まり語り合う「いろいろ福会 in 高鍋」(右)田舎見会長と町の共催で約50人が参加。活動を支援する

NPQ法人みんなのくらしターミナルの初鹿野聡代表がコーディネーターを務め、メンバー4人と意見を交わした。

中山間地支援のボランティア活動をしている高鍋明子さん(30)は「いろんな人と知り合い、つながりの大切さを実感した」、民生委員の瀬川芳孝さん(70)は児童の登下校見守りで「あいさつをしてもらうのがうれしくてやっている」とそれぞれ報告した。

商店街活性化や引きこもり支援などの発表もあり、会場からは喫茶店経営の竹原重文さん(80)が「高鍋客がタクシーで訪れる。元気な間は皆さんに利用いただきたい」と述べた。初鹿野さんは「今の時代に合う形で人とのつながりをつくり直すため、何をすべきか考えていきたい」とまとめた。コンサートや野の花館恒例のいろいろ開きもあった。

いろいろ福会は、昨年10月に同町で開いた自殺対策のフォーラム開催がきっかけで毎月第3火曜午後7時から野の花館に集まっており、参加者を募集している。問い合わせは町健康づくりセンター☎0983(28)23333。

11月のいろいろ端会に元南九大教授北川義男氏が参加されました。

「いろいろ端会 in 高鍋」に参加した感想！

高鍋町民 北川 義男

11月の「いろいろ端会 in 高鍋」に、はじめて参加させてもらいました(野の花館活動には17年ほど前から係わっていますが)。以前から、関心はあったのですが、時間がとれなくて！ 参加しての感想ですが、まずは、(約130年前の)民家が移設されてつくられた時空間の体感がすごいですね！ そして、囲炉裏を囲んで約15名の異なる職場やグループや主婦などからの語らいの「内容や取り組み」、そして、淡々と語りながら何故かあつく感じるトーク、そして、その話に耳を傾ける方などいろいろです。はじめてお会いする人との出会いも、心地よい緊張のある楽しみです。

この「会」は、月に一回、定期的開催され、誰もが参加でき、暮らしやまちづくりを語ることができる「会」です。このような機会が高鍋のまちにあることが素晴らしいことだし、また、高鍋のまちにとっても幸運だと思います。

私たちの生活は、以前に比べて不安なことがとても多いです。例えば、毎年3万人以上の自殺者、児童や高齢者へのいじめや虐待、悲惨な殺傷事件、若者の就職、雇用問題、少子高齢化、行財政問題、地域格差問題、領土問題(対中国・ロシア・韓国など)、不安定な東アジア情勢、世界経済が移行し日本力の低下(G7からG20)、TPP(環太平洋経済協定)による農林水産業への打撃、地球温暖化による被害続発など……

宮崎では、他に口蹄疫被害がありました。それに加え、人口減少問題があります。宮崎県は25年後人口が17%減少します(本年1月3日の宮日新聞掲載)。孫の代(50年後)は30%減少するかも？ **あなたのまちの人口が今より30%減少したまちのイメージを描いてください。いかがでしょうか** 高鍋町は25年後14%減少、都農町(25%)、川南町(18%)、木城町(25%)、新富町(18%)、西都市(24%)、西米良村(43%)の減少予測です。このような状況の中で、『子どもや孫たちに「安心して元気に暮らせるまち」を引き継ぐためにどうすればいいのだろうか』とよく考えます。

確かに厳しいですが、でも悲壮感はありません。それは、改善方法は必ずあると思っているからです。ただ、その方法を見つけ出せるかどうかだけが課題ですが。そのためには、今までの発想ややり方の5割程度は変更する姿勢や気持ちがいるのかも知れません。その改善の基本は、自分達の暮らしやまち(活動や問題や強みや希望やビジョンや提案など)について、誰もが語ったり、聞けたりする機会が定期的にあるかどうかポイントだと思います。意外とまちに、その様な3点セットの機会はないものです。

約20年前から子ども文化や暮らしを大切に活動している「野の花館」で開催されている「いろいろ端会」の意味は、とても大きいと思います。高鍋のまちづくりの「拠点の1つ」だと言えます。運営しておられる方に感謝の思いです。

インプロワークショップ

11月13, 14日(土日)

講師 横山仁一さん 劇団東京オレンジ主宰 洗足学園音楽大学講師

即興演劇のワークショップを開催しました。

今回講座参加者は、1日目12人、2日目9人。

野の花館の広さにはちょうどよい人数でした。

まず、最初は即興演劇についての座学。

午後からいよいよ体を動かします。まず、2人組や3人組になって、コミュニケーションゲームからスタート。

そして次第に、即興表現の世界に入っていきます。楽しく取り組めるように、実にうまくプログラムが作られているなと感じました。



参加者の感想

まずやってみる事の大切さを再認識しました。ふだんネガティブな言動や行動が多い事を反省しました。(男性 演劇関係)

盛りだくさんでとても楽しい時間をすごしました。思いつきで動いての広がりや考えすぎない事が大切というのも参考になりました。

今後の活動に活かして行きたいと思います。交流会での話なども参考になりました。(女性 演劇関係)

このプログラムを小・中ぐらいで受けたかったです。期待以上でした。講義も素晴らしく、内容も参加者の様子を見ながら組み立てておられ、とても濃いた。相手の感情をしっかりと受け取ってから自分の中から湧いてきたものを返す、というのもできていないなあ~と思いました。とにかく楽しかったです。横山さんの全体の調整力というか感度というか、そういうもののうえになりたっているなと思いました。仕事上使えそうなワークもあったし。考え方も。コミュニケーション練習に使っていきたいです。ありがとうございました。(女性 福祉関係)

人の絵、コラージュ、考えていなくても自然に演じられる、自分の過去の意味、発揮される自分の過去・情報、人からもらえる心、いやし、自然、古い家屋、人々(そして偶然・・・必然?)たくさん感動いただきました。ありがとうございました。

(女性 教員)

皆さんがとても上手で、助けられました。横山さんのていねいなアシストありがとうございました。(女性)

演劇はまったくの初めてだったけど、とても楽しかったです。機会があればこれから
どんどん参加してみたい気持ちになりました。ありがとうございました。

(男性 学生)

一日しか参加できませんでしたが、とても楽しかったです！インプロってどんなもの
かとワクワクしてましたが、一日がすごく充実しました！機会があればまた必ず参加
したいです！ありがとうございました。

(女性)

即興演劇で表現力を

横山さん(劇団東京オレン)が指導

高鍋・野の花館

台本のない演劇で表現力を
磨く「インプロ・ワークショップ」(NPO法人・野の花館主催)が13、14日、高鍋町の野の花館であった。県内の会社員、学生ら12人が、自己表現力を高めるゲームなどを体験した。

インプロは「即興」を意味する英語「インプロビゼーション」の短縮語。瞬時の対応



会社員らが台本のない演劇に取り組んだインプロ・ワークショップ

が必要ない即興演劇は、柔軟なコミュニケーションや発想力を養う効果があるとされ、体系化されたワークショップが教育、介護現場などでも広がっている。

この日は、劇団東京オレン(東京都)主宰の横山仁一さんが講師として指導。参加者たちは、与えられたキーワードから想像力を膨らませて言葉を発したり、状況設定に応じて演じたりしていた。

参加した宮崎市の染織家、岡田心平さん(37)は「ほかの参加者の言葉などからイメージを膨らませ、相手の意図を

文化
bunka@
the-myranichi.co.jp
文化部 ☎0985(26)06017

キャッチするのにかなり神経を使った。すごく充実した時間だった」と話していた。文化庁の芸術団体人材育成支援事業の一環。県民に広く演劇に興味を持ってもらう狙いで、同法人が初めて企画した。



第 23 回ミールミニコンサート 11月3日



“ 深まりゆく秋 ” V. 稲田竜斗
P. 稲田由香里

「四季」より10月“秋の歌”

チャイコフスキ-

ツィガ-ヌ・ ラヴェル

熊蜂は飛ぶ リムスキー・コルサコフ

秋の歌メドレ- など

宮崎交響楽団の定期演奏会（コンサートマスター、ソリストとして熱演）を終えたばかりのお2人によるコンサート…深まりゆく秋を楽しみました。
常連の方々、懐かしい人たち、若い宮響のお仲間等が 参加されました。
昨年までは毎月の開催でしたが、今年は3回、これからも忙しくなりそうなお2人折角の開催時には皆さん是非心してご参加ください。

みそづくり

10月17日

今年は町内の若い人たちの参加で楽しみました。



味噌作り体験に参加して

先日10月17日、野の花館主宰の味噌作り体験教室に主人と参加させていただきました。西都線から道一つと隔てない場所からは想像できない、大きな樹木の緑豊かな自然に囲まれた空間に、野の花館の古民家は重厚な面持ちで佇み、そこで野の花館の則松さんご夫妻を始め、体験に参加された素敵な方々と秋の一日、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。大きな鍋に大豆をぐらぐら煮え立たせる、燃える薪の香りに癒され、則松さんご自慢の手動ミンチ機で煮立った大豆を漉す力の要る作業に、男性が奮闘されはらずむ会話に気持ちが和み、まだ湯気があがる漉したばかりの大豆をもる蓋に取りだし、問いかけるように両手で麴と丁寧に混ぜ合わせていく作業に心が落ち着いていくのを感じました。五感を働かせ、自然の中で体験できた味噌作りは、普段の生活では味わうことのできない貴重な体験でした。則松さんの奥様がお母様から教わった味噌作りの製法を継承されて、またこうして私たちに教えて下さる、参加された方々との楽しいおしゃべりと共に、人と人との繋がりの素晴らしさを温かい気持ちで感じる事ができた一日でした。 宇都宮郁子

グリーンコープ助成 福祉施設への慰問演奏会開催事業

お便りをいただきました。

この度は、本園で素晴らしい演奏会を企画して下さい、厚く御礼申し上げます。
遅くなりましたが、下記の通り感想を送らせていただきますので、よろしくお願い致します。

石井記念にしん保育園園長

上田久恵

第3回「ミール」コンサート

ヴァイオリンとピアノの本格的な生演奏に触れる事は滅多になく、特に0,1,2歳児の子ども達にとっては、とても良い機会を与えて頂きました。

その迫力に初めは泣いてしまう子どももいましたが、驚いたのは30分間のコンサートの間、食い入るように見つめたり、聞き覚えのある曲には体を揺らしたり手拍子をうったりと、演奏に集中していた子どもがかなり多かったという事です。子ども達にとって感性を養う有意義な時間であったという証拠だと思います。

夏休み中の放課後児童クラブの小学生も聴く事が出来、「楽しかった」「きれいな音楽を聴かせてくれてありがとう」等様々な感想が出ました。特に、TV番組(情熱大陸)のテーマソングの迫力ある演奏に痛く感動していました。

レベルの高い演奏を、普段着の感覚で楽しむ事が出来、「ミール」のお二人、企画して下さいった野の花館の皆様には大変感謝しております。出来る事なら、又保育園にお越しいただき、素晴らしい音楽を聴かせて頂きたいと強く思います。

第5回石井記念めいりん保育園 10月14日(木)10時半～



事務局日誌より

- 9/7(金)9:00～ 9月定例会
- 9/21(火)19:00～ いろり端会
- 10/10～17 みそづくり
- 10/14(木)グリーンコープ助成第5回慰問演奏会
石井記念めいりん保育園
- 10/24(日)13:00～ いろりびらき2010
- 11/2(火)13:00～16:00 NPO宮崎・商談会
- 11/3(文化の日)14:00～
第23回ミールミニコンサート
- 11/13(土)10:00～20:00 演劇ワ-クショップ
- 11/14(日)10:00～16:00 演劇ワークショップ
- 11/16(火)19:00～21:00 いろり端会

これからの予定

- 12/12(日)10:00～ 町図書館読書まつり参加
- 12/13(月)19:00～ 12月定例会
- 12/21(火)19:00～ いろり端会
- 12/23(天皇誕生日)第23回ミールミニコンサート
2011年
- 1/15(土)10:30～ 子どもの為の舞台公演2010
お話とパントマイム(二人の会)
- 2月 染色教室予定

育児だより

* 伊藤兄弟 *

伊藤 美穂子



やたらに体調をこわしていた春から夏もなんとか乗り切り秋はやってきた。秋と言えば運動会だ。夏勢の学年は地域の伝統芸能を舞った。(その時に鍋のふたがいうので家中の鍋のふたを並べて、検討しこれだ!!というのがなくて本当に困った。結局やかんのふたがぴったりとすることが分かりなんとか本番に間に合ったのだった。)舞いはそれぞれ子どもたち自身が作ったお面をつけ、ゆったりとした動きのものであった。ユ-モラスでもあり少し恐ろしくもあり、他県出身の私には日向のひょっとこと同じくらい新鮮だった。親ばかだとは思いうけれど夏勢はなかなかうまかった。

友樹は9月から綾町の保育園に行き始めたので、運動会で踊るダンスやかかけっこが出来るかなと母としては心配だった。が、自分の好きなようにダンスをアレンジしつつもみんなと一緒に参加して、楽しそうであった。ほ-とした。ああそういえば友樹は人前でおどることも歌うことも楽しんで出来るタイプだったなあ、と再確認したのだった。2人ともますます個性がはっきりしてきた。面白くてかわいくて子育てはあきないな-と思う。

* かんきつ姉弟 *

金丸 智子

日に日にすきとおっていく空気をどろんこでの散歩で、帰宅中の橋の上から眺める夕焼けぞらで感じています。

それにしても寒いなあ。

我が家の秋は高校の体育祭を皮切りにスタトしました。なにせ、今年は4回の運動会そのうち3回は全員で囲むお弁当。これが来年も…。でも、ゆっくり食べるのって子どもが小さいうちだけだよねえ。中学校はさっとかきこんで次の準備に走って行ったもん、長女は…。なので手のかかるすっごいお弁当はやめました。

この秋の最大イベント「七五三」。これがいよいよ最後です!

友達がいたので、しっかり写真も衣装もお金掛けてしまいました。

朔はカメラの前ではガチガチで、折角かっこいいのに顔は固まってる。ちいは反対に満面の笑み。きれいにしてもらうのは嬉しいみたい。女の子だなあ。参拝当日は朝から土砂降り、着物さばきに気をもんだけれどみんなそろってお祝いできたからそれでよい。としたいところです。弟家族も一緒ににぎやかな一日でした。

野の花館へのご支援感謝します!

2010年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(10.9.1.~10.11.15.受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

安楽さやか、稲田竜斗、薄井坦子、宇都宮郁子、海老原次子、岡山勇、川崎紫央里、木下龍、金海純子、高橋優子、多田かおり、谷口明、田原遥海、友成昌亮、永井悦子、永井賤子、永井寛子、中武悟、長友君子、長友展昭、中野善子、中村公子、林真美、原田勝代、前田晶子、峰瑞枝、宮沢厚・里美、森田匠、山口郁代、山口由美

ありがとうございました。

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

特定非営利活動法人 野の花館

phone & fax: 0983-23-0701

URL: <http://nonohanakan.com>